事例No.	1929
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	宮城県大河原町

事例区分	公営企業

タグ	・市場事業 ・公共施設活用 ・組織改革

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

地方卸売市場の広域化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【宮城県大河原町】
地方卸売市場の広域化

広域化等　市場事業

宮城県大河原町商工観光課

取組の概要

市場を取り巻く環境の変化に対応し、生鮮食料品等の安定的な供給を維持するため地方卸売市場の広域化を行った。

◆総事業費　3,000千円（総事業費のうち町の負担額）

◆背景

- 大型スーパーの進出や小売店の減少等の影響により市場取引高が減少し、収益が減少していた。
- この問題を解決するため、市場取引高を確保し、安定的な経営を継続できる市場のあり方について検討することとした。

◆具体的内容

- 同様の課題を抱えていた角田市及び白石市の地方卸売市場を大河原町地方卸売市場に統合し、仙南地域の拠点市場として大河原町地方卸売市場に機能を集約した。
- 卸売市場の統合に伴い、みやぎ仙南農協主導の下、各卸売市場の卸売会社を合併した。

◆効果

- 仙南地域一円が取引対象となったことで、品揃えが充実し、取引数量（約1,072t/年）及び売上高（約238,209千円/年）が増加し、赤字から黒字に転換した。
- 品揃えの充実による価格の安定化が図られた。
- 施設の集約化により、管理費・修繕費等を削減した。

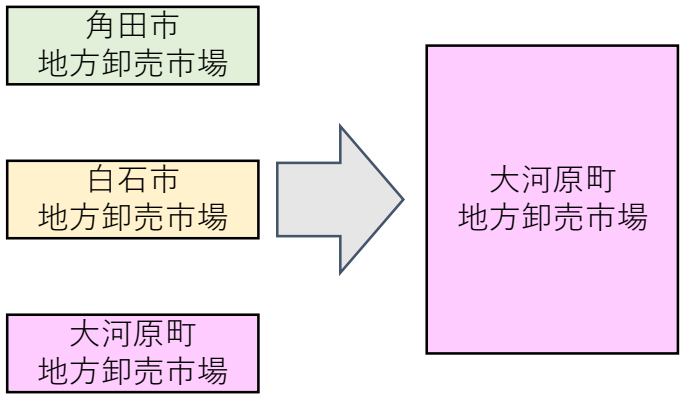
取組のポイント

- 卸売事業者の経営基盤の安定のため、卸売市場の統合に伴い、みやぎ仙南農協主導の下、各卸売市場の卸売会社を合併した。
- 合併後の卸売会社が安定的な経営を維持できるよう、経営計画の作成等を含め複数回に渡り協議会を開催した。

公営企業情報

- 行政区域内人口　23,660人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　25.01km^2（令和4年1月1日時点）
- 年間取扱高　2,199t（令和3年度決算）

統合のイメージ



取組のスケジュール

- 平成17年12月　検討を開始。
- 平成22年9月　卸売市場を合併。

今後の展望

- 広域化の取組から10年以上が経過し、流通形態の多様化による市場を介さない取引の増加や、少子高齢化等の社会構造の変化により、市場の経営はなお厳しい状況に直面しており、さらなる広域化や廃止も含めた検討が必要となっている。